

減量・中止基準

セツキシマブ		
副作用	程度	処置
皮膚障害	1回目のG3以上の重篤な皮膚障害発現時	投与延期する。G2以下に回復したら250mg/m ² で投与継続。回復しない場合は投与中止。
	2回目のG3以上の重篤な皮膚障害発現時	投与延期する。G2以下に回復したら200mg/m ² で投与継続。回復しない場合は投与中止。
	3回目のG3以上の重篤な皮膚障害発現時	投与延期する。G2以下に回復したら150mg/m ² で投与継続。回復しない場合は投与中止。
	4回目のG3以上の重篤な皮膚障害発現時	投与中止。
Infusion reaction	G1-2	投与速度を半分に減速し、反応が良好の場合は減速した速度で投与を継続する。症状が改善しない場合は、解熱鎮痛薬、抗ヒスタミン薬、ステロイドなどを投与し、反応が不良の場合は再投与せず投与中止とする。
	G3以上	投与を直ちに中止し、症状に応じて酸素投与や薬剤投与（エピネフリン、ステロイド、抗ヒスタミン薬、気管支拡張薬）などの適切な処置を行う。再投与は永続的に禁止。
低マグネシウム血症	発現時	硫酸マグネシウムの注射薬で補充する。休薬を検討する。